

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 ダイワ通信株式会社 上場取引所 東
コード番号 7116 URL https://daiwawa.com
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）岩本 秀成
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理部長 （氏名）多賀 勝用 TEL 076 (291) 4000
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,397	2.7	129	△9.8	139	△0.9	88	△6.8
2024年3月期中間期	2,334	9.8	143	△23.0	140	△23.9	94	△22.6

（注）包括利益 2025年3月期中間期 88百万円（△6.8%） 2024年3月期中間期 94百万円（△22.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	32.52	-
2024年3月期中間期	34.91	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	3,951	2,745	69.5
2024年3月期	3,985	2,684	67.4

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 2,745百万円 2024年3月期 2,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2025年3月期	-	5.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	40.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2025年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 30円00銭

配当予想の修正については、本日（2024年11月14日）公表いたしました「配当予想の修正ならびに創業30周年記念配当の実施に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,417	5.0	400	9.8	392	5.7	258	0.4	95.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	2,707,000株	2024年3月期	2,707,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	43株	2024年3月期	43株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	2,706,957株	2024年3月期中間期	2,706,957株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化や雇用・所得環境が改善する中で、景気回復基調が見られた一方、エネルギー価格の高騰や円安基調の継続による物価高騰が設備投資の抑制など景気を下振れさせる懸念もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループのセキュリティ事業に関連する防犯セキュリティ市場におきましては、事件や事故の報道を受けた防犯意識の高まりから、高い需要で推移しております。また、モバイル事業に関連する携帯電話販売に係る業界では、物価高騰の影響による端末価格の上昇に伴い、乗り換えキャンペーンを利用した買替需要が好調に推移しております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、誰もが安心・安全・便利に暮らせる未来の街「Safe City」の実現に向けて、「新たな価値・満足の創出」、「人財育成」をはじめとした経営課題への取り組みを通じて、企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は2,397百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は129百万円（同9.8%減）、経常利益は139百万円（同0.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は88百万円（同6.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（セキュリティ事業）

セキュリティ事業においては、防犯意識の高まりを背景に、大手事務機器メーカー・大手警備会社と連携しカメラ販売及びソリューションの提供に取り組み、防犯カメラ売上は増加いたしました。

一方、製品の企画開発に積極的に取り組み、さらに人財確保に向けた給与のベースアップ等の人財投資にも積極的に取り組んだ結果、売上原価および販売費及び一般管理費が増加いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高1,318百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益153百万円（同17.1%減）となりました。

（モバイル事業）

モバイル事業においては、大型ショッピングモール等の商業施設内で積極的な販促イベントを実施し、新規顧客の獲得、またそれに伴う各種サービスへの加入促進に取り組んでまいりました。高機能・高画質な新型端末への顧客ニーズを的確に捉え、顧客に最適な料金プランを提案するとともに、光回線、映像・音楽コンテンツ配信、キャッシュレス決済、顧客サポート等、収益の多様化を図ってまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高1,072百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益110百万円（同33.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比34百万円減の3,951百万円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加422百万円、現金及び預金の減少228百万円、売上債権の減少208百万円などによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末比95百万円減の1,206百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加100百万円、支払手形及び買掛金の減少117百万円、未払金を含むその他流動負債の減少28百万円、長期借入金の減少40百万円などによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比60百万円増の2,745百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加88百万円及び剰余金の配当27百万円によるものであります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は470百万円となり、前連結会計年度末に比べて329百万円減少しました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は163百万円（前年同期は50百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益137百万円、売上債権の減少額208百万円に対し、棚卸資産の増加額22百万円、仕入債務の減少額117百万円、法人税等の支払額49百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は515百万円（前年同期は44百万円の支出）となりました。これは主に、固定資産の売却による収入10百万円に対し、定期預金の預入による支出104百万円、固定資産の取得による支出429百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は22百万円（前年同期は51百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増額100百万円、長期借入金の返済による支出40百万円、配当金の支払額27百万円があったことによるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月14日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	803,820	575,117
受取手形	-	1,352
売掛金	792,469	583,035
電子記録債権	1,368	493
商品及び製品	750,174	770,217
その他	38,752	40,129
流動資産合計	2,386,585	1,970,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	587,055	571,868
土地	405,873	405,873
リース資産(純額)	90,540	84,187
建設仮勘定	308,176	730,987
その他(純額)	27,669	25,255
有形固定資産合計	1,419,315	1,818,172
無形固定資産	6,341	5,623
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
敷金及び保証金	111,321	106,696
繰延税金資産	40,636	35,747
その他	11,788	5,101
投資その他の資産合計	173,747	157,544
固定資産合計	1,599,404	1,981,341
資産合計	3,985,990	3,951,688
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	306,391	188,670
短期借入金	110,000	210,000
1年内返済予定の長期借入金	71,905	57,739
未払法人税等	49,981	44,212
リース債務	13,278	13,938
賞与引当金	20,211	19,060
その他	171,430	143,359
流動負債合計	743,196	676,980
固定負債		
長期借入金	483,445	457,345
リース債務	73,219	70,249
その他	1,459	1,485
固定負債合計	558,123	529,079
負債合計	1,301,320	1,206,059

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	10	10
利益剰余金	2,584,746	2,645,705
自己株式	△86	△86
株主資本合計	2,684,669	2,745,628
純資産合計	2,684,669	2,745,628
負債純資産合計	3,985,990	3,951,688

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,334,635	2,397,969
売上原価	1,552,877	1,608,302
売上総利益	781,757	789,666
販売費及び一般管理費	638,367	660,284
営業利益	143,390	129,381
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	1	30
為替差益	-	8,333
受取保険金	2,418	2,215
助成金収入	2,043	31
還付加算金	7	-
その他	307	2,624
営業外収益合計	4,780	13,234
営業外費用		
支払利息	3,243	3,080
為替差損	4,168	-
営業外費用合計	7,411	3,080
経常利益	140,759	139,534
特別利益		
固定資産売却益	2,601	996
特別利益合計	2,601	996
特別損失		
固定資産売却損	-	2,110
リース解約損	-	1,290
特別損失合計	-	3,400
税金等調整前中間純利益	143,361	137,130
法人税、住民税及び事業税	44,103	44,212
法人税等調整額	4,772	4,889
法人税等合計	48,875	49,102
中間純利益	94,485	88,028
親会社株主に帰属する中間純利益	94,485	88,028

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	94,485	88,028
中間包括利益	94,485	88,028
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	94,485	88,028
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	143,361	137,130
減価償却費	24,828	28,288
のれん償却額	1,004	-
受取利息及び受取配当金	△1	△30
支払利息	3,243	3,080
固定資産売却損益(△は益)	△2,601	1,113
受取保険金	△2,418	△2,215
助成金収入	△2,043	△31
売上債権の増減額(△は増加)	173,835	208,955
棚卸資産の増減額(△は増加)	△81,579	△22,148
仕入債務の増減額(△は減少)	△66,240	△117,720
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,504	△1,150
為替差損益(△は益)	△20	11
未消費税等の増減額(△は増加)	△2,574	13,364
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,118	△6,987
その他	△15,208	△27,781
小計	153,968	213,878
利息及び配当金の受取額	1	30
利息の支払額	△3,243	△3,080
助成金の受取額	2,043	31
保険金の受取額	2,418	2,215
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△104,479	△49,981
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,711	163,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,153	△104,166
定期預金の払戻による収入	3,153	4,166
固定資産の取得による支出	△57,921	△429,725
固定資産の売却による収入	12,875	10,634
敷金及び保証金の差入による支出	△91	△115
敷金及び保証金の回収による収入	502	4,177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,636	△515,029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△15,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△33,930	△40,266
リース債務の返済による支出	△2,972	△10,514
配当金の支払額	-	△27,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,902	22,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△45,807	△329,796
現金及び現金同等物の期首残高	764,500	800,667
現金及び現金同等物の中間期末残高	718,693	470,870

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ事業	モバイル 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じ る収益	1,310,652	1,017,395	2,328,047	-	2,328,047	-	2,328,047
その他の収益	-	-	-	6,587	6,587	-	6,587
外部顧客への売上高	1,310,652	1,017,395	2,328,047	6,587	2,334,635	-	2,334,635
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	3,210	3,210	△3,210	-
計	1,310,652	1,017,395	2,328,047	9,797	2,337,845	△3,210	2,334,635
セグメント利益	185,348	83,044	268,392	7,634	276,026	△132,635	143,390

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ事業	モバイル 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じ る収益	1,318,953	1,072,990	2,391,943	-	2,391,943	-	2,391,943
その他の収益	-	-	-	6,025	6,025	-	6,025
外部顧客への売上高	1,318,953	1,072,990	2,391,943	6,025	2,397,969	-	2,397,969
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	3,210	3,210	△3,210	-
計	1,318,953	1,072,990	2,391,943	9,235	2,401,179	△3,210	2,397,969
セグメント利益	153,712	110,793	264,505	7,070	271,575	△142,193	129,381

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自2023年4月1日 至2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自2024年4月1日 至2024年9月30日）
給料及び手当	188,797千円	193,226千円
役員報酬	65,223	64,263
賞与引当金繰入額	24,669	19,468
退職給付費用	562	546

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
現金及び預金勘定	721,846千円	575,117千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△3,153	△104,247
現金及び現金同等物	718,693	470,870